

学 科	両学科	担 当 教 員	全教員		
授 業 科 目	倉数学	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	1 年次・前期
授 業 の 主 題 目 標	<p>【授業の主題】 豊かな芸術と文化の街、日本有数の産業都市としての倉敷市（倉敷・児島・玉島・水島・真備・船穂）を学ぶ。</p> <p>【到達目標】 倉敷市の歴史、文化、産業等についての学びを通して、この地域に対する関心や知識を広げるとともに、地域の魅力づくりや課題解決について考えるために必要な基礎的な力を身につける。</p>				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 半年間の講義全体の概要やキーワードの解説、授業の魅力と意義、到達目標、成績評価方法などのガイダンス (担当：安達) 2. 日本遺産のまち倉敷。歴史とまちづくり (担当：大原) 3. 倉敷市立短期大学のこれまでとこれから (担当：木戸・湯浅) 4. 倉敷市の教育と保育 (担当：小久保) 5. 倉敷市の福祉（第五次暮らしきハーモニープランを参考にして） (担当：宮崎・眞次) 6. 倉敷市の防災 (担当：平岡) 7. 倉敷市の姉妹都市（ザンクトペルテン、カンザスシティ、クライストチャーチ、鎮江） (担当：松浦・長櫓) 8. 倉敷市のファッション（繊維産地との産学共同研究） (担当：佐藤) 9. 倉敷市の文化（表現） (担当：別府・濱田) 10. 倉敷市の文化（デザイン） (担当：田中・上村) 11. 倉敷市のファッション（写真で見る繊維産地） (担当：道明) 12. 倉敷市のファッション（学生服とジーンズ） (担当：乾・福岡) 13. 倉敷市の芸術 (担当：浅野・児玉) 14. 倉敷市のアート・プロダクトデザイン (担当：趙・小野) 15. 倉敷市の経済 (担当：田鹿) <p>・毎回の授業においてレポートを課す。 ・各回担当教員の判断により、必要に応じて、ゲストスピーカー、ゲストティーチャーを招く場合もある。</p> <p>定期試験は実施しない</p>				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	山下祐介（2021）『地域学入門』ちくま新書 （上記のほか授業内において資料を別途適宜配布することがある。）				
事 前 学 習 の 内 容	授業で扱うトピックに関連する資料を見つけて読んでおく。				
事 後 学 習 の 内 容	各回の授業中に配布した資料を見直しておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	レポート(100%)				
履 修 上 の 注 意	各教員の担当順は都合により変更することがある。 受講生の学修状況や理解度を見て、進度や順序を調整する場合がある。				

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	文学	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	保育2年次・後期 服美1、2年次・後期
授 業 の 主 題 標	<p>【授業の主題】 代表的な英語文学作品を題材に、文学独特の表現を学びながら英語力向上を図るとともに、各作品の文化的・社会的背景についても考察する。また、映像作品を活用して作品世界を多角的に捉え、文学理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語文学に関する幅広い知識を習得することができる。 ・文学作品の多様な英語表現を理解することができる。 ・作家の生い立ちや文化的・社会的背景を理解したうえで、作品を解釈することができる。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / 文学の役割 2. ギリシャ神話—物語構造・象徴・後世への影響 3. ジェフリー・チョーサー『カンタベリー物語』—中世英文学の特徴 4. ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』—愛と悲劇のテーマの理解 5. ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』—心理描写の手法 6. ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』と『ライオンキング』—古典文学と現代映像作品の比較および物語の普遍性を考察 7. 英語俳句 (1) —英語俳句の創作方法 8. 英語俳句 (2) —発表と相互評価 9. マザー・グース—韻律やリズムの効果の理解 10. チャールズ・ディケンズ『クリスマス・キャロル』—物語の批判的側面を考察 11. アーネスト・ヘミングウェイ『雨の中の猫』—簡潔な文体と象徴表現を考察 12. アーネスト・ヘミングウェイ『雨の中の猫』—創作ライティングおよび作品の解説 13. F.スコット・フィッツジェラルド『ベンジャミン・バトン 数奇な人生』—物語構造の理解 14. F.スコット・フィッツジェラルド『ベンジャミン・バトン 数奇な人生』—人生観の考察 15. まとめ <p>定期試験は実施しない</p>				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	適宜プリントを配布する。 参考図書：石塚久郎他編著 (2014) 『イギリス文学入門』 三修社				
事 前 学 習 の 内 容	授業で取り上げる作家について、事前に生涯や代表作、文化的背景などを調べておくこと。				
事 後 学 習 の 内 容	授業で扱ったテーマや表現について、配布資料を読み、理解を深めておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	コメントペーパー (30%)、課題 (50%)、発表 (20%)				
履 修 上 の 注 意	特になし。				

学 科	両学科	担 当 教 員	全 円子		
授 業 科 目	国語表現		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	保育1年次・前期 服美2年次・前期
授 業 の 主 題 目	<p>【授業の主題】 日本語の変遷についての認識を深め、日々新たに变化する表現を身につける。</p> <p>【到達目標】 国語表現に対する理解を深め、論理的でわかりやすい文章を書く力とコミュニケーション能力を養う。書きことばの面では、手紙やビジネス文章など実用的な文章の書き方を修得する。話しことばについては、日本語のより良い表現方法を学び実践力を身につける。</p>				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 序講・実用的な文章の書き方について 2. リズムと文体 3. 生き生きとした表現 4. メモから原稿執筆まで 5. 手紙の書き方 6. 履歴書・お礼状の書き方（就職活動の準備Ⅰ） 7. ビジネス文章の書き方（就職活動の準備Ⅱ） 8. 説明文の書き方 9. 文章の推敲 10. 実用的な表現の仕方について 11. 話すことについて 12. 敬語の使い方 13. 電話のかけ方と受け方 14. 学習レポート作成 15. まとめ・レポートテスト <p>定期試験は実施しない</p>				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	<p>参考図書 『日本語の作文技術』（本多勝一、朝日新聞社） 『ホンモノの文章力』（樋口裕一、集英社新書）</p>				
事前学習の内容	課題とする文章表現について調べる。				
事後学習の内容	講義内容の学修ミニレポートを作成する。				
評 価 の 方 法 基 準	講義の学修ミニレポートなど授業への取り組み（40%） レポート（60%）				
履 修 上 の 注 意	特になし				

学 科	両学科	担 当 教 員	矢吹 香月		
授 業 科 目	日本国憲法	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必 修 ・ 選 択	保育 必修 服美 選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	保育1年次・後期 服美1、2年次・後期
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 日本国憲法が保障している基本的人権について、判例を題材として日常生活の側面からアプローチして基本的な解説を行う。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における身近な社会問題から、個を尊重し他者も尊重するために必要なルールについて考える力を身につける。 ・現代社会の様々な事象を憲法価値の実現の視点で考えることができる。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 法について 2. 憲法とは(1) 憲法の目的 3. 憲法とは(2) 2つの憲法の間 4. 日本国憲法を生んだ密室の9日間 (DVD) 5. 憲法と司法(1) 裁判所のはたらき 6. 憲法と司法(2) 違憲審査制について 7. 政治の仕組み・内閣のはたらき 8. 憲法と人権 9. 憲法と消費者(1) 憲法と民法の関係 10. 憲法と消費者(2) 医療契約から自己決定権について考える 11. 憲法と消費者(3) 営業の自由と消費者の権利 12. 憲法と家族(1) 結婚について考える 13. 憲法と家族(2) 女性の人権 14. 憲法と家族(3) 子どもの人権 15. 人権のまとめ・期末試験 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『憲法のちから～身近な問題から憲法の役割を考える～』(第2版) 中富公一編 法律文化社				
事 前 学 習 の 内 容	教科書該当箇所を読んで、予習しておくこと。				
事 後 学 習 の 内 容	授業中に取りあげた社会問題について調べておくこと。授業中の内容を教科書で再度確認しておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	試験 (70%) 授業で提出するレポート (30%)				
履 修 上 の 意 注	中学校・高等学校の社会科を復習すること。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	秋川 陽一		
授 業 科 目	教育学	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	1、2 年次・後期
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 自分の受けてきた教育や学びの体験を振り返りながら、「教育とは何か？」について考察することを通して、教育学についての基礎的な知見を獲得することを主題とする。</p> <p>【到達目標】 「教育とは何か？」についての知見を学び、自らが、自分の今後の生き方と教育・学びのあり方について考える。さらに、将来、おとな（親）として子どもの教育（子育て）に関わる際の重要な考え方や方法を身につける。</p>				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション：私たちの「教育」のイメージと「教育」「子育て」に対する疑問 2. 私たちの「教育」のイメージの考察（初回：イントロダクション）の検討 3. 「教育」の意味を考える－「教育」の語義から 4. 教育を受ける（＝学ぶ）ことの意義－「教育基本法」を踏まえて 5. 公教育の場としての「学校」－現代日本の学校制度の目的を中心に 6. 「教育」に関わる疑問の考察 7. 幼稚園・保育所・認定こども園とは？－その共通性と差異性 8. 幼児教育・保育の重要課題－「幼保一元化」「幼小連携」 9. 家庭教育（子育て）の重要課題－「子育ての危機」「しつけと虐待」「子どもの体験格差」 10. 子どもにとっての「遊び」の教育的意義 11. 現代の親の子育ての状況－（受講生の）子ども・子育てに関する「知恵」の確認 12. 「子ども・子育て支援」制度－その必要性・現状・課題 13. 「子どもの権利条約」の精神と子どもの権利内容－「子どもの権利」尊重の視点 14. 「こども基本法」の精神と「自治体こども計画」－子どもの意見表明権の尊重 15. まとめ－近未来の「教育」の潮流（改革の方向性）を考える <p>定期試験は実施しない（終講レポートを課す）</p>				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	<p>テキストは使用せず、毎回、講義レジュメ・資料等の教材を配付する。</p> <p>参考書として、以下の文献を推薦する。</p> <p>汐見稔幸『教えから学びへー教育にとって一番大切なこと』河出新書（河出書房新社）</p> <p>大田堯『教育とは何か』岩波新書【新赤版】（岩波書店）</p>				
事前学習の内容	配付資料・シラバスを確認し、授業の概要を把握しておくこと。				
事後学習の内容	毎回の授業中にとった「メモ」を振り返り、電子データで配付されたレジュメを活用して（各自で印刷するなどして）「ノート」としてまとめること。				
評 価 の 方 法 基 準	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート＝「教育」「子育て」に関する疑問（20%） ・終講レポート（80%） 				
履 修 上 の 意 注	配付された講義レジュメ（電子データを含む）は、無断で他者に譲渡することは控えてください。				

学 科	両学科	担 当 教 員	土肥 直樹		
授 業 科 目	生命科学	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	保育1年次・後期 服美1、2年次・後期
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 身近な事例をもとに自分の健康や自然環境についての知識を深め、社会や個人のレベルで考え行動する力を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の行動の意味やヒトのからだや病気について興味をもって学習することができる。 ・再生医療や宇宙開発などの最先端の科学について関心を持つことができる。 ・自ら情報収集をすることで主体的な学びの態度を身につける。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、本講座で学習すること 2. 代謝 呼吸するとやせられるのか？ 3. ヒトのからだ① 各臓器の役割と病気1 4. ヒトのからだ② 各臓器の役割と病気2 5. ヒトのからだ③ (講演ビデオ視聴) <レポート提出> 6. ヒトのからだ④ (施設見学) <レポート提出> 7. 動物の行動① 受容器と効果器 8. 動物の行動② 神経系 9. 動物の行動③ (生得的な行動) 10. 動物の行動④ (習得的な行動) 11. 動物の行動⑤ (野外実習) ※野鳥観察 <レポート提出> 12. 遺伝のしくみ 13. 発生と再生 14. 宇宙開発とヒト (VTR) <レポート提出> 15. まとめ、定期試験 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	与えられた項目について各グループ (3~5 人を想定) が調べた内容をスライドで作成する。これがテキストとなる。 参考書：石浦章一『小説みたいに楽しく読める生命科学講義』羊土社 (購入する必要なし)				
事前学習の内容	事前にグループごとに調べるテーマを明示するので授業時までには情報収集を行っておく。その他、必要な連絡はGoogle Classroomで行う。				
事後学習の内容	授業時間の最後 (またはその日のうち) に授業の振り返りを行い学習を深める。				
評 価 の 方 法 基 準	授業の振り返りの提出 (30%)、課題レポート (20%)、定期試験 (50%) ※授業の振り返りでは、担当した内容の問題作成を行い、それを集めた問題集から定期試験で出題する。				
履 修 上 の 注 意	野外実習、現代医学博物館等の学外施設見学を実施する予定である。別の曜日及び時間帯に設定する可能性がある。施設見学は、現地集合現地解散、交通費等が自己負担となる可能性がある。				

学 科	両学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	数学	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1 年次・後期 2 年次・前期
授 業 の 主 題 目	<p>【授業の主題】 高校までに学んだ数学の基礎を復習し、社会人として求められる論理的思考力と計算力を養う。 保育・服飾現場（数の概念、事務処理、寸法計算、原価計算、図形）で役立つ数学的センスを磨く。 就職活動（SPI・筆記試験）に対応できる基礎力を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四則演算、分数、小数などの基礎的な計算を正確に行うことができる。 ・割合（%）や比の計算を理解し、実生活や実務（割引計算、調乳、用尺計算など）に応用できる。 ・就職試験（SPI 等の非言語分野）の基礎的な問題を解くことができる。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・基礎力チェック-シラバス説明 割合と百分率・1次方程式・連立方程式 2. 数の計算①（整数・計算の工夫）P. 4-11 計算の順序、工夫して解く方法、事務処理を速く正確に行うコツ 3. 数の計算②（小数と分数）P. 12-19 通分、約分、小数の掛け算・割り算 4. 単位と測定 P. 20-23 長さ、重さ、時間、速さの単位変換 5. 1次方程式・連立方程式の基礎 P. 24-31 文字式の扱い、未知数 X を求める 6. 比と比例・反比例 P. 32-39 比の性質、比例配分 7. 割合（%）の基礎 P. 40-47 小数・分数・%の相互変換 8. まとめ・中間試験 9. 割合の応用① P. 48-51 実務応用編 割合の応用②（損益算・濃度）P. 52-59 原価・定価・売価、食塩水の濃度 10. 図形の基礎（平面図形）P. 60-67 面積、角度、三角形、四角形、円 11. 図形の応用（立体図形）P. 68-75 体積、表面積、展開図 12. 場合の数・確率 P. 76-83 順列、組み合わせ 13. データの読み取り・統計 P. 84-91 平均値、グラフの読み取り 14. 推論・集合（SPI 対策基礎）P. 92-99 命題、論理的思考 15. まとめ・期末試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	『わかる！解ける！数学トレーニング Stage1』 noa 出版				
事前学習の内容	高等学校での数学 I、数学 A の教科書を復習しておくこと。 予め各授業回のテーマに沿った下調べを各自行うこと。				
事後学習の内容	各回授業で取り組んだ内容を復習する。				
評 価 の 方 法 基 準	基礎課題（20%）、中間試験（40%）、期末試験（40%）				
履 修 上 の 注 意					

学 科	両学科	担 当 教 員	澤田 陽一		
授 業 科 目	心理学	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	保育2年次・後期 服美1、2年次・後期
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 心は実体ではなく、身体とそれを取り囲む環境を場として働く機能である。これを踏まえ、様々な視点から、心にまつわる主要な知見を紹介し、社会を客観的に捉えられる視点を養う。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な心理学の知見を通して、人間を多方面から理解する。 ・科学的な心理学の知見を理解し、実生活に位置づける。 ・心理学という学問を知り、心への探求心を育む。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学事始 <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・心理学とは何か 2. 心理学の歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・古代/中世の心理学 ・近代以降の心理学 3. 感覚・知覚・認知 <ul style="list-style-type: none"> ・表象とは何か 一世界を把握するプロセス 4. 記憶と学習 <ul style="list-style-type: none"> ・記憶の種類とメカニズム 5. 言語 <ul style="list-style-type: none"> ・言語の機能 ・思考/知能との関係 6. 情動/感情 <ul style="list-style-type: none"> ・情動/感情の役割 ・情動/感情の諸理論 7. パーソナリティ <ul style="list-style-type: none"> ・パーソナリティを捉える方法 ・対人認知と印象形成 8. 発達Ⅰ：他者意識の発達 <ul style="list-style-type: none"> ・人間の発達の特異性 ・他者身体の獲得と模倣行動 9. 発達Ⅱ：自己意識の発達 <ul style="list-style-type: none"> ・身体的自己からメタ認知へ 10. 社会的影響 <ul style="list-style-type: none"> ・集団から影響を受ける個人の特徴 11. 心の臨床と健康 <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害 ・ストレス理論と健康 12. 脳と心 <ul style="list-style-type: none"> ・脳から見た行動（心理） 13. 社会の中に潜在する共通心理 <ul style="list-style-type: none"> ・損失の過大視と社会的行動 14. 不思議現象を信じる心 <ul style="list-style-type: none"> ・強固な信念を作り出すメカニズム 15. 総括・試験 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	指定のテキストはなく、毎回オリジナルプリントを配布する。 参考図書として『ヒルガードの心理学 第16版』を挙げるが、あくまでオリジナルプリントを活用する。				
事前学習の内容	シラバスに記載されている講義内容に関する項目・キーワードの概要を事前に調べておくこと。				
事後学習の内容	非常に多くの専門用語が提示されるため、それらを定着するために図書館やインターネット等を利用して復習すること。				
評 価 の 方 法 基 準	試験（100%）（状況に応じてオンラインによる試験にすることがある。）				
履 修 上 の 注 意	私語厳禁。 講義で扱う専門用語が少なくないため講義外での復習が必須である。				

学 科	保育学科	担 当 教 員	田 鹿 絃		
授 業 科 目	経済学入門	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	1 年次・前期
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 消費は我々の日常生活の中心となるもので、それ無しには生活することができない。また、社会人となった場合には、消費者に対して製品を提供する側となる。消費に関する問題を学ぶ上で必要な経済理論や時事問題を学んでいく。またできるだけ現実的な事例を多く用いながら解説を行っていく。</p> <p>【到達目標】 身近な現象を需要曲線と供給曲線を用いて説明するための基礎的な知識を有している。少子化、高齢化、グローバル化が経済に与える影響についての知識を有しており、対応策について説明することができる。</p>				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学とはどのような学問か 2. 効率と公平 3. 希少性と資源分配 4. 需要曲線 5. 供給曲線 6. 均衡、弾力性 7. 曲線のシフトと均衡の変化(1)理論の説明 8. 曲線のシフトと均衡の変化(2)作図の練習 9. 売り手と買い手の情報格差 10. 人口構造の変化と経済 11. 高齢社会と経済・社会保障 12. 為替レートと貿易 13. グローバル化と消費経済 14. 外部性 15. 授業全体のまとめ・試験 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	<p>テキストは使用しない。プリントを配布する。</p> <p>【参考文献】 関谷喜三郎・高木聖『楽しく学ぶ消費経済』創成社 伊ヶ崎大理・大森達也・佐藤茂春・内藤徹『スタートダッシュ経済学』勁草書房</p>				
事前学習の内容	経済に関する新聞記事に目を通しておく。事前に指示した内容について参考書や web で調べ、概要を把握しておく。				
事後学習の内容	講義ノートや配布資料を見直し、知識を整理する。また、アイデアをノートにまとめておく。				
評 価 の 方 法 基 準	試験 (100%)				
履 修 上 の 意 注	なし				

学 科	両学科	担 当 教 員	前田 吉広		
授 業 科 目	キャリアデザイン	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	1 年次・前期
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 これからの社会を“自分らしく”生きるために、自らの将来を考え主体的に選択し、キャリアをデザインする力を育てる。その過程で、社会人基礎力をアクティブラーニングによって実践的に身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で決めた目標に向けて計画し、行動と振り返りを通じて自らの成長につなげる。 ・自己理解と他者理解を深め、他者から得た助言をもとに自分の成長や課題を言語化できる。 ・社会人基礎力を日常の行動に生かし、将来のありたい姿に向けた主体的な選択と行動ができる。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに、キャリアデザインとは？ 2. “大学生”って何？ (1) 高校生との違い、就活シミュレーションワーク (前半)、課題1の発表 3. “大学生”って何？ (2) 教わると学ぶ、将来の姿を考える 4. はたらく意味を考える (1) 何のために働くのか、個性を知る 5. はたらく意味を考える (2) 多様な働きかた 6. 課題1の相互フィードバック、課題2に向けて 7. キャリアについて考える、インスパイア体験を振り返る 8. 自分の轍を考える、大学の強み・特徴を知る 9. ライフロールを考える、授業の意味を再考する 10. 課題2の相互フィードバック、課題3に向けて 11. “社会人基礎力”を活用する 12. キャリアプランを作成する 13. 職業について考える、自己PRを作成する 14. 課題3の相互フィードバック、就活シミュレーションワーク (後半) 15. 振り返り、まとめ <p>定期試験は実施しない</p>				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	必要に応じて、資料などを配布する。 参考書：『キャリア基礎講座テキスト 第2版』新井明 玄田有史 (日経BP) 『やり抜く力 GRIT (グリット)』アンジェラ・ダックワース (日経BP)				
事前学習の内容	授業で説明のある課題に定期的に取り組み、進捗報告の準備をすること。				
事後学習の内容	授業で学んだことを振り返り、学習した内容を課題の実行に反映させること。				
評 価 の 方 法 基 準	毎授業後に実施するリフレクション (60%)、課題報告レポート (40%)				
履 修 上 の 注 意	出席確認・リフレクションの提出は「Google Classroom」で行う。また、意見共有のためライブアンケートツール (例：Slido, Google フォーム) を使用する。				

学 科	保育学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報機器の操作 I		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	必修	授 業 形 態	演 習	開 講 時 期	1 年次・前期
授 業 の 主 題 目 標	<p>【授業の主題】 ビジネス文書作成とプレゼンテーション能力の習得 表計算ソフトによるデータ管理と活用 クラウド活用と情報リテラシー・AI 導入</p> <p>【到達目標】 ・大学の ICT 環境（メール、LMS）を適切に利用できる。 ・情報セキュリティと著作権およびAI リテラシーの基礎を理解し、適切に行動できる。 ・Word・Excel・PowerPoint を用いて、レポート、表計算、効果的な発表資料を作成できる。</p>				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと学内システム シラバス説明、Google アカウントの設定、Gmail の署名設定・マナー、タイピング診断 2. Google Workspace の活用 Google ドライブによるファイル管理・共有、Google Classroom の課題提出方法、カレンダー連携 3. 情報モラルとセキュリティ 【ビデオ視聴】 パスワード管理、ウイルス対策、SNS のトラブル事例と対策 4. 文書作成の基礎 (Word) 文字入力、書式設定、段落設定、ページのレイアウト設定 教科書 第 1 章 5. ビジネス文書の作成 頭語・結語、挨拶文、社外文書・社内文書の基本ルールと作成演習 教科書 第 2 章 6. 表を含む文書の作成 表の挿入・編集、罫線の設定、時間割や行事予定表の作成 7. 図形と画像の活用 (保育現場編 1) クリップアートの挿入、図形の描画、テキストボックスの活用「園だより」のレイアウト検討 8. 表現力豊かな文書作成 (保育現場編 2) スマートアート、ワードアートの活用 イラストを組み合わせた「クラスだより」の完成 9. 長文レポートの作成 スタイル設定、目次作成、脚注、参考文献の書き方 10. 著作権と情報の引用 【ビデオ視聴】 レポート作成におけるコピー問題、画像利用の著作権、参考文献の正しい引用法 11. プレゼンテーションの基礎 (PowerPoint) 基本操作、スライドのデザイン設定、箇条書き、画像の配置 教科書 第 5 章 12. 視覚効果とアニメーション アニメーション設定、画面切り替え効果、保育教材 (デジタル紙芝居) への応用 13. 図解とグラフの挿入 データの視覚化、SmartArt による図解、Excel グラフの貼り付け連携 14. 生成 AI 入門 (Gemini) 生成 AI 「Gemini」の基礎操作 アイデア出し (行事の企画案など) への活用と注意点 (ハルシネーション等) 15. まとめ・課題制作 総復習 Word または PowerPoint を用いた最終成果物の作成と提出 <p>定期試験は実施しない</p>				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『学生のための Office スキル活用&情報モラル改訂版』 noa 出版 (著、編集)				
事 前 学 習 の 内 容	予め各授業回のテーマに沿った下調べを各自行うこと。 タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
事 後 学 習 の 内 容	各回授業で取り組んだ内容を復習する。				
評 価 の 方 法 基 準	基礎課題 (20%)、応用課題 (50%)、総合課題 (30%)				
履 修 上 の 注 意	授業では Google アカウント (大学付与) を使用します。パスワード管理を徹底してください。 生成 AI の利用については、大学および授業の方針 (補助ツールとしての利用など) を遵守してください。				

学 科	保育学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報機器の操作II		科 区 分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	必修	授 業 形 態	演 習	開 講 時 期	1 年次・後期
授 業 の 主 題 目	<p>【授業の主題】 Excel による実務的なデータ処理と分析 クラウドツールと AI 連携による情報活用・発信 キャリア形成支援と WEB テスト対策</p> <p>【到達目標】 ・オンライン授業における課題提出・受講方法を習得する。 ・実習を通して Word・Excel・PowerPoint の操作法を習得する。 ・ハルシネーションを前提に、AI の出力情報の真偽を裏取るリサーチ手法とファクトチェックの実践を身につける。</p>				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 計算の基礎 (Excel) データの入力、オートフィル、セルの書式設定、基本的な四則演算 教科書 第3章 2. 合計・平均と相対/絶対参照 SUM、AVERAGE 関数の利用 相対参照と絶対参照の違いと使い分け 3. 条件付き集計 (COUNTIF 等) 【重要】 COUNTIF、COUNTIFS を用いたアンケート回答数の集計、出席管理簿の作成 4. データ検索と参照 (VLOOKUP) 【重要】 VLOOKUP 関数を用いた台帳管理 (園児名簿からの情報抽出など)、エラー処理 5. 実務的なデータ処理 IF 関数による条件分岐、データベース機能 (並べ替え、フィルター) の活用 6. グラフ作成とデータ分析 目的に応じたグラフの選択と作成、複合グラフ、近似曲線の利用 7. アンケート作成 (Google Forms) Google Forms によるアンケート設計、設問形式の選択、分岐設定 8. アンケート集計と AI 分析 回答データのスプレッドシート連携 Gemini を用いた自由記述回答の要約・分析手法 9. 情報発信 (Google Sites) Google Sites の基本操作 ポートフォリオやアンケート結果報告ページの作成 10. 連携・分析レポート作成演習 Google Forms で収集したデータを分析し、Word/Sites で報告書・記事を作成する統合演習 11. 生成 AI 活用法 (NotebookLM) Google NotebookLM を用いた資料の読み込み、要約、Q&A 生成による試験対策・学習支援活用 12. キャリア支援・Web テスト演習 1 就職活動の現状と IT スキル リクナビ等の Web テスト (言語・非言語) の体験と演習 13. キャリア支援・Web テスト演習 2 SPI 対策 (特に表計算や論理的思考が必要な問題) Excel 操作との関連性の理解 14. 個人情報の保護とセキュリティ 【ビデオ視聴】 個人情報漏洩のリスク、スマホの紛失対策、クラウド利用時の注意点 15. まとめ・最終課題 年間の学習成果を統合した課題 (データ分析を含むレポートまたはポートフォリオ) の提出 <p>定期試験は実施しない</p>				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『リファレンス動画付き!実践ドリルで学ぶ Office 活用術 演習問題全 173 題』 noa 出版 (著、編集)				
事前学習の内容	予め各授業回のテーマに沿った下調べを各自行うこと。 タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
事後学習の内容	各回授業で取り組んだ内容を復習する。				
評 価 の 方 法 基 準	基礎課題 (20%)、応用課題 (50%)、総合課題 (30%)				
履 修 上 の 注 意	授業では Google アカウント (大学付与) を使用します。パスワード管理を徹底してください。 生成 AI の利用については、大学および授業の方針 (補助ツールとしての利用など) を遵守してください。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報処理演習 I		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	必修	授 業 形 態	演 習	開 講 時 期	1 年次・前期
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 ビジネス文書作成とプレゼンテーション能力の習得 表計算ソフトによるデータ管理と活用 クラウド活用と情報リテラシー・AI 導入</p> <p>【到達目標】 ・大学の ICT 環境（メール、LMS）を適切に利用できる。 ・情報セキュリティと著作権およびAI リテラシーの基礎を理解し、適切に行動できる。 ・Word・Excel・PowerPoint を用いて、レポート、表計算、効果的な発表資料を作成できる。</p>				
授 業 の 内 容 方 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションとアカウント設定 Google アカウントの設定、学内ネットワーク接続、タイピング基礎診断 情報倫理ビデオ：ネットマナー 2. Google Workspace の基礎① Gmail の作法（目上の人へのメール）、Google Classroom の利用方法、カレンダー連携 情報倫理ビデオ：メールとチャット 3. Google Workspace の基礎② Google Drive によるファイル管理、Docs/Sheets/Slides の共同編集体験 4. Word 基礎と文書作成① 文書の基本構成、文字の書式設定、段落設定（教科書：Word 編） 情報倫理ビデオ：パスワード管理 5. Word 基礎と文書作成② 表の作成、図・画像の挿入と編集、レイアウト調整、ファッション誌風のレイアウト演習 6. Word 応用とレポート作成 スタイル機能の活用、長文レポートの作成ルール、目次の自動作成、PDF 保存 情報倫理ビデオ：コンピュータウイルス 7. 生成 AI 活用入門（Gemini） 生成 AI とは何か。Gemini のアカウント確認、プロンプトエンジニアリング基礎（アイデア出し、文章校正での活用） 8. 情報倫理とセキュリティ 情報倫理ビデオ：個人情報公開の危険性 9. PowerPoint 基礎と表現① プレゼンテーションの基本、スライド作成、文字と箇条書き、デザインテーマの適用 10. PowerPoint 基礎と表現② 図解の作成（SmartArt）、画像の加工、表・グラフの挿入、アパレル企画書を想定したスライド作成 情報倫理ビデオ：著作権の基本 11. PowerPoint 応用と発表技術 アニメーション、画面切り替え効果、発表者ツール、効果的なプレゼンテーション技法 12. プレゼンテーション演習 作成したスライドを用いたミニプレゼンテーション実施と相互評価 13. リクナビ登録とキャリア準備 就職活動における IT 活用、リクナビへの登録、自己分析ツールの活用 14. 総合演習 情報倫理ビデオ：ネット詐欺 15. まとめ・課題制作 総復習、Word または PowerPoint を用いた最終成果物の提出 定期試験は実施しない 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	教科書：『学生のための Office スキル活用&情報モラル改訂版』（noa 出版） 教材：情報倫理デジタルビデオ小品集 8（データパシフィック）				
事前学習の内容	予め各授業回のテーマに沿った下調べを各自行うこと。 タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
事後学習の内容	各回授業で取り組んだ内容を復習する。				
評 価 の 方 法 基 準	基礎課題（20%）、応用課題（50%）、総合課題（30%）				
履 修 上 の 意 注	授業では Google アカウント（大学付与）を使用します。パスワード管理を徹底してください。 生成 AI の利用については、大学および授業の方針（補助ツールとしての利用など）を遵守してください。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報処理演習Ⅱ	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	演習	開 講 時 期	1 年次・後期
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 データ分析と AI 活用 キャリア対策（就職活動準備） クリエイティブ制作と発信</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析と活用：Google フォームで収集したデータを分析し、論理的なレポートを作成する。 ・ハルシネーションを前提に、AI リサーチ手法とファクトチェックの実践を身に付ける。 ・ポートフォリオ作成と、Adobe Premiere Pro による動画コンテンツ制作能力の修得。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後期ガイダンスとキャリア準備 就職活動における IT スキルの重要性 リクナビ等の就活サイト登録と Web テストの概要解説 2. リクナビ Web テスト演習 (1) 言語分野対策 語彙力強化と、AI を活用した模擬問題作成・学習法 3. リクナビ Web テスト演習 (2) 非言語 (計数) 分野対策 損益算、推論などを Excel を使って解く思考法トレーニング 4. アンケート調査の設計 調査目的の設定 (例：若者のファッション意識調査) Google フォームの作成と分岐設定 5. データ収集と集計 Google フォームとスプレッドシートの連携 回答データのクリーニングと単純集計 6. AI を活用した分析 (NotebookLM) 収集データや関連文献 (PDF 等) を NotebookLM に読み込ませ、傾向分析や考察のヒントを得る 7. 集計分析レポート作成 分析結果をグラフ化し、考察を加えた「調査報告書」を作成する 論理的な構成力の養成 8. 動画制作基礎 (Premiere Pro) 動画編集の基本概念、インターフェース、素材の読み込み、カット編集 9. 動画演出・加工 テロップ (文字) 入力、トランジション (場面転換)、BGM・効果音の挿入 10. 動画制作応用・書き出し カラー補正、エフェクト活用 SNS や Web 向けの設定での書き出し方法 (課題例：Lookbook 動画、学科 PR 動画) 11. Web サイト構築基礎 Google サイトの基本操作 ページ構成、テーマ設定、ヘッダーデザイン 12. コンテンツの埋め込みと連携 作成した動画 (YouTube/Drive)、調査レポート、フォームなどを Google サイトへ埋め込む 13. デジタルポートフォリオ制作 1 年間の成果物 (服飾実技の作品写真含む) をまとめた自己 PR 用 Web サイトの構築 14. 最終課題制作・ブラッシュアップ 15. 作成した Google サイト (ポートフォリオ) と動画の提出 <p>定期試験は実施しない</p>				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『学生のための Office スキル活用&情報モラル改訂版』 noa 出版 (著、編集)				
事 前 学 習 の 内 容	予め各授業回のテーマに沿った下調べを各自行うこと。 タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
事 後 学 習 の 内 容	各回授業で取り組んだ内容を復習する。				
評 価 の 方 法 基 準	基礎課題 (20%)、応用課題 (50%)、総合課題 (30%)				
履 修 上 の 注 意	授業では Google アカウント (大学付与) を使用します。パスワード管理を徹底してください。 生成 AI の利用については、大学および授業の方針 (補助ツールとしての利用など) を遵守してください。				

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語 I (コミュニケーション)	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必 修 ・ 選 択	必修	授 業 形 態	演 習	開 講 時 期	1 年次・前期
授 業 の 主 題 目 標	<p>【授業の主題】 洋楽を通して英語特有の音声変化やリズムに慣れ親しみながら、基礎的な語彙や表現を習得し、身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションが取れるようになることを目的とする。また、文法問題やリーディング、スピーキングなどの活動を通して、総合的な英語運用力の向上を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむことができる。 ・英語の基礎的な語彙や表現、文法を習得することができる。 ・身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションを取ることができる。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語習熟度チェック・ガイダンス 2. Talking to the Moon (Bruno Mars) 歌のリスニング・和訳・文法事項の解説 3. You're Beautiful (Maria Lawson) (1)英語の発音記号・歌のリスニング 4. You're Beautiful (Maria Lawson) (2)リーディング・リスニング・スピーキング 5. I Want It That Way (Backstreet Boys) (1)英語の品詞と機能・歌のリスニング 6. I Want It That Way (Backstreet Boys) (2)リーディング・リスニング・スピーキング 7. The First Time (Surface) (1)動詞の時制・歌のリスニング 8. The First Time (Surface) (2)リーディング・リスニング・スピーキング 9. Complicated (Avril Lavigne) (1)進行形・歌のリスニング 10. Complicated (Avril Lavigne) (2)リーディング・リスニング・スピーキング 11. My Heart Will Go On (Celine Dion) (1)未来表現・歌のリスニング 12. My Heart Will Go On (Celine Dion) (2)リーディング・リスニング・スピーキング 13. You Are Not Alone (Michael Jackson) (1)現在完了形・歌のリスニング 14. You Are Not Alone (Michael Jackson) (2)リーディング・リスニング・スピーキング 15. まとめ・試験 				
実務経験を活かす内容					
テキスト教材	角山照彦 / Timothy F. Hawthorne (著)『ポップスでスタート!基礎英語』成美堂				
事前学習の内容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば調べておくこと。				
事後学習の内容	授業で学んだ語彙や表現を復習しておくこと。				
評価の方法基準	課題 (40%)、発表 (10%)、試験 (50%)				
履修上の注意	英和辞書を持参すること。				

学 科	保育学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語Ⅱ(コミュニケーション)	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必 修 ・ 選 択	必修	授 業 形 態	演 習	開 講 時 期	1 年次・後期
授 業 の 主 題 目	<p>【授業の主題】 グローバル化の進展に伴い、保育現場においても外国につながりを持つ園児や保護者が増加している。外国につながりを持つ園児の入園を想定したテキストを用いて、保育現場に必要な英語の基本的な語彙や表現を習得するとともに、外国につながりを持つ園児や保護者に英語で対応できる保育者の養成を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の現場に必要な英語の基本的な語彙や表現を習得することができる。 ・遊びや活動などの場面で、英語で園児と簡単なコミュニケーションを取ることができる。 ・日常の保育や子どもたちの活動の様子について、保護者の方に英語で簡単な説明をすることができる。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / The School Year Begins 新学期・園の人々・園舎 2. Arrival 登園・家族 3. Playtime in the Classroom 室内あそび・欠席の連絡 4. In the Sandbox 外あそび・遊具 5. In the Playground 園庭・けんか 6. Lunchtime 昼食・献立表 7. Changing Clothes and Story Time 着替え・おはなし 8. Nap Time トイレ・お昼寝 9. Blowing Bubbles 病気・身体の名称 10. A Sick Child 緊急連絡 11. Preparation for the Sports Day 行事の案内状・電話連絡 12. The Sports Day 運動会・動作 13. Going for a Walk 散歩(1)地図 14. Discovering Autumn 散歩(2)交通 15. まとめ・試験 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	森田和子著『新・保育の英語』三修社				
事 前 学 習 の 内 容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば調べておくこと。				
事 後 学 習 の 内 容	授業で学んだ語彙や表現を復習しておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	課題 (30%)、小テスト (20%)、発表 (10%)、試験 (40%)				
履 修 上 の 意 注	英和辞書を持参すること。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語Ⅱ(コミュニケーション)	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	演 習	開 講 時 期	1 年次・後期
授 業 の 主 題 目 標	<p>【授業の主題】 グローバル化の進展に伴い、ファッション業界においても英語が必要不可欠になっている。ファッションに関するテキストを用いて、ファッション特有の語彙や表現を習得する。また、リスニングやスピーキングなどの活動を通して実践的な英語力の向上を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションに関する英語の語彙や表現を習得することができる。 ・服の色や柄、素材などについて、英語で表現することができる。 ・ファッションのトレンドやコーディネートについて、英語で説明することができる。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / It's nice to meet you. 人との出会いに関する英語表現 2. What shall I wear? 服の種類を英語で表現 3. What color is it? 服の色や柄を英語で表現 4. What's it made of? 服の素材を英語で表現 5. Do they match? 服のコーディネートについて英語で表現 6. What's hot and what's not? ファッショントレンドについて英語で表現 7. What's your place like? インテリアについて英語で表現 8. How often do you get a haircut? 日課について英語で表現 9. How do you make it? 裁縫について英語で表現 10. How much is it? 買い物について英語で表現 11. How does it fit? 小売販売について英語で表現 12. Break a leg! ファッションショーについて英語で表現 13. デザインした服に関する英語の発表資料作成 14. 発表 15. まとめ <p>定期試験は実施しない</p>				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	小林悠子・マナル・グラント著『ファッションナブル・イングリッシュ』南雲堂				
事 前 学 習 の 内 容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば調べておくこと。				
事 後 学 習 の 内 容	授業で学んだ語彙や表現を復習しておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	課題 (50%)、発表 (50%)				
履 修 上 の 注 意	英和辞書を持参すること。				

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語Ⅲ	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	2 年次・前期
授 業 の 主 題 目	<p>【授業の主題】 映画『ノッティングヒルの恋人』を視聴しながら英語の基礎的な語彙や表現を習得し、身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションが取れるようになることを目的とする。また、リスニングやスピーキングなど様々な活動を通して、実践的な英語運用能力の向上を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語特有の音声変化を理解し、簡単な英会話を聞き取ることができる。 ・基礎的な英語の語彙や表現を習得することができる。 ・身近な話題や日常会話に関して、自分の気持ちや考えを表現し、英語で簡単なコミュニケーションを取ることができる。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス / William's Notting Hill & 'She' 語彙問題・スピーキング・内容把握 2. William's Notting Hill & 'She' ライティング・リスニング 3. Surreal, But Nice 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 4. 洋楽のリスニングと解説(1)Money on My Mind (Sam Smith) 5. A Goddess Is A Movie Star 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 6. Birthday Party 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 7. A Date With Anna 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 8. 洋楽のリスニングと解説(2)Break Free (Ariana Grande feat. Zedd) 9. She's Gone 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 10. She's Back 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 11. Rude Awakening—Ain't No Sunshine 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 12. 洋楽のリスニングと解説(3)I Don't Think That I Like Her (Charlie Puth) 13. Like Me Again 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 14. The Right Decision 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 15. まとめ・試験 				
実務経験を活かす内容					
テキスト教材	Richard Curtis (著) 神谷久美子・Kim R. Kanel (編著) 映画総合教材『ノッティングヒルの恋人』新装版、松柏社				
事前学習の内容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば調べておくこと。				
事後学習の内容	授業で学んだ語彙や表現を復習しておくこと。				
評価の方法基準	課題 (50%)、試験 (50%)				
履修上の注意	英和辞書を持参すること。				

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語Ⅳ	科目区分	基礎科目	2 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	2 年 次 ・ 後 期
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 映画『ボヘミアン・ラプソディー』『マイ・インターン』『マネーボール』を視聴しながら英語の基礎的な語彙や表現を習得し、身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションが取れるようになることを目的とする。また、リスニングやスピーキングをはじめ、字幕作成や英語での映画レビュー執筆など多様な活動を通して、実践的な英語運用能力の向上を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語特有の音声変化を理解し、簡単な英会話を聞き取ることができる。 ・基礎的な英語の語彙や表現を習得することができる。 ・身近な話題や日常会話に関して、英語で簡単なコミュニケーションを取ることができる。 				
授 業 の 内 容 方 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. Forming the Band, Queen : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 2. Bohemian Rhapsody : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 3. Drifting Apart : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 4. The Truth Comes Out : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 5. Performing in Live Aid : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 6. Applying for a Senior Internship : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 7. The Working Environment at ATF : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 8. The Problems ATF Faces : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 9. Working Women & Work-Life Balance : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 10. The Possibility of Hiring a New CEO : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 11. The Evaluation of Players : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 12. Managing Team Conflicts : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 13. The Trading of Players : 語彙問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 14. A Winning Streak : 問題・スピーキング・内容把握・リスニング・ディスカッション 15. まとめ・試験 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	塩見佳代子・Matthew Coomber・宮林賀奈子著 『アクティブ・ラーニング型 映画で学ぶ4技能』金星堂				
事 前 学 習 の 内 容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば調べておくこと。				
事 後 学 習 の 内 容	授業で学んだ語彙や表現を復習しておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	課題 (30%)、発表 (20%)、試験 (50%)				
履 修 上 の 意 注	特になし。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	石井 成人		
授 業 科 目	フランス語 I	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授業形態	演習	開 講 時 期	1、2年次・前期
授 業 の 主 題 目 標	<p>【授業の主題】 外国語として既習の英語とはまた異なる第二外国語の基本文法について、一般教養として確認していく。一般的ヨーロッパ各国言語の基本的な文法内容（男性名詞、女性名詞、動詞の活用変化等）をフランス語で経験する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者は英語と同じアルファベットで表記されるフランス語の発音を習得する。 ・受講者は主要各国言語で一般的な主語に対する様々な動詞活用変化に対する教養を、フランス語で経験、獲得する。 ・受講者は学習した基本文法をふまえて、簡単なフランス語日常会話にふれて自分の言葉として運用する。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 冠詞と名詞：不定冠詞・定冠詞、男性名詞・女性名詞 3. 演習（冠詞と名詞） 4. ER 規則動詞：主語に対する動詞の規則的活用変化 5. 演習（ER 規則動詞） 6. 否定形・疑問形：フランス語での否定・疑問文の作り方 7. 演習（否定形・疑問形） 8. 不規則動詞 AVOIR：主語に対する不規則な動詞（英語 have-）の活用変化 9. 演習（不規則動詞 AVOIR） 10. 不規則動詞 ETRE：主語に対する不規則な動詞（英語 be）の活用変化 11. 演習（不規則動詞 ETRE） 12. 形容詞の性・数一致：男性・女性名詞に対応し変化する形容詞 13. 演習（形容詞の性・数一致） 14. まとめ(学習してきた文法内容全体の再確認) 15. 総復習・定期試験 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	教室にてプリント配布、また参考書・辞書等指示予定 （例参考：『プチロワイヤル仏和辞典』（旺文社））				
事 前 学 習 の 内 容	講義の中で学習済み仏語文法項目を確認しつつ、次の学習準備を（Classroom を利用しながら）毎回確認しておく。				
事 後 学 習 の 内 容	講義の中で学習済み仏語文法項目をふまえて、実際に具体的な再確認の課題（Classroom を利用しながら）指示にそって、取り組み、課題送信提出する。				
評 価 の 方 法 基 準	通常講義内でのフランス語学習の取り組み（30%）、課題評価（30%）、学期内で複数回予定の小試験（20%）、定期試験（20%）の総合評価				
履 修 上 の 注 意	前後期、一年間を通して第二外国語・フランス語の学習を行うので、基本的に後期は、前期履修者、または過去にフランス語学習経験ありの者を受講要件とする。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	石井 成人		
授 業 科 目	フランス語Ⅱ		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	1、2 年次・後期
授 業 の 主 題 目 標	<p>【授業の主題】 外国語として既習の英語とはまた異なる第二外国語の基本文法について、一般教養として確認していく。一般的ヨーロッパ各国言語の基本的な文法内容（男性名詞、女性名詞、動詞の活用変化等）をフランス語で経験する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者は英語と同じアルファベットで表記されるフランス語の発音を習得する。 ・受講者は主要各国言語で一般的な主語に対する様々な動詞活用変化に対する教養を、フランス語で経験、獲得する。 ・受講者は学習した基本文法をふまえて、簡単なフランス語日常会話にふれて自分の言葉として運用する。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 仏語動詞半過去形 3. 演習（時制活用練習） 4. 仏語動詞・複合過去形（助動詞 ETRE の複合過去） 5. 演習（助動詞 ETRE 過去形活用練習） 6. 仏語動詞・複合過去形（助動詞 AVOIR の複合過去） 7. 演習（助動詞 AVOIR 過去形活用練習） 8. 人称代名詞 9. 演習（代名詞書き換え練習） 10. 仏語動詞・未来形 11. 演習（未来形活用練習） 12. 代名動詞その1（代名動詞の現在形） 13. 代名動詞その2（代名動詞の複合過去形） 14. 演習（代名動詞仏作練習） 15. 総復習・定期試験 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	教室にてプリント配布、また参考書・辞書等指示予定 (例参考：『プチロワイヤル仏和辞典』（旺文社）)				
事 前 学 習 の 内 容	講義の中で学習済み仏語文法項目を確認しつつ、次の学習準備を（Classroom を利用しながら）毎回確認しておく。				
事 後 学 習 の 内 容	講義の中で学習済み仏語文法項目をふまえて、実際に具体的な再確認の課題（Classroom を利用しながら）指示にそって、取り組み、課題送信提出する。				
評 価 の 方 法 基 準	通常講義内でのフランス語学習の取り組み（30%）、課題評価（30%）、学期内で複数回予定の小試験（20%）、定期試験（20%）の総合評価				
履 修 上 の 注 意	前後期、一年間を通して第二外国語・フランス語の学習を行うので、基本的に後期は、前期履修者、または過去にフランス語学習経験ありの者を受講要件とする。				

学 科	保育学科	担 当 教 員	濱田 雄仁		
授 業 科 目	健康科学概論	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必 修 ・ 選 択	必修	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	1 年次・通年 (1/4)
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 健康を支える要素として、主に運動・スポーツを取り上げ、体力の保持増進やストレス解消、レクリエーションといった機能について理解する。※授業は、後期の12月頃から7回行います。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・運動が心身に与える影響について説明できる。 ・スポーツ・運動の効果的な行い方について理解できる。 ・体力を保持増進する方法について理解できる。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、ヘルスプロモーションの理解 2. 健康づくりと運動・スポーツ 3. 生活習慣病の予防と運動・スポーツ 4. 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康、感染症の予防の理解 5. 体力・運動能力の測定と評価 6. 体力トレーニングに関する知識の理解 7. 運動・スポーツのレクリエーション機能 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『大学生のスポーツと健康生活』（福岡大学スポーツ科学部） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針解説』（フレーベル館） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館）				
事 前 学 習 の 内 容	普段から健康の保持増進に努め、自他の健康づくりの課題について考察すること。				
事 後 学 習 の 内 容	テキストや配布資料を見直すとともに、授業で扱った内容を復習すること。				
評 価 の 方 法 基 準	ワークシート (50%) レポート (50%)				
履 修 上 の 意 注	本授業は通年科目のため、履修登録は前期に行うこと。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	湯浅 理枝		
授 業 科 目	健康科学概論	科目区分	基礎科目	1 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	1 年次・通年 (1/4)
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 健康を支える要素として、主に運動・スポーツを取り上げ、体力の保持増進やストレス解消、レクリエーションといった機能を体験的に理解する。※授業は、後期の12月頃から7回行います。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・運動が心身に与える影響について説明できる。 ・スポーツ・運動の効果的な行い方について理解できる。 ・体力を保持増進する方法について理解できる。 				
授 業 の 内 容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、ヘルスプロモーションの理解 2. 健康づくりと運動・スポーツ 3. 生活習慣病の予防と運動・スポーツ 4. 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康、感染症の予防の理解 5. 体力・運動能力の測定と評価 6. 体力トレーニングに関する知識の理解 7. 運動・スポーツのレクリエーション機能 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『大学生のスポーツと健康生活』（福岡大学スポーツ科学部）				
事 前 学 習 の 内 容	普段から健康の保持増進に努め、自他の健康づくりの課題について考察すること。				
事 後 学 習 の 内 容	テキストや配布資料を見直すとともに、授業で扱った内容を復習すること。				
評 価 の 方 法 基 準	ワークシート (50%) レポート (50%)				
履 修 上 の 意 注	本授業は通年科目のため、履修登録は前期に行うこと。 なお、「スポーツ」と内容を組み合わせて行うため、「スポーツ」を履修せずに、本授業のみを履修することはできません。				

学 科	保育学科	担 当 教 員	濱田 雄仁		
授 業 科 目	スポーツ		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	必修	授 業 形 態	実技	開 講 時 期	1 年次・通年 (3/4)
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 様々なスポーツの実践を通じて、運動・スポーツに親しむ姿勢を育むとともに、必要な技能を身につけ、体力の保持増進を図ることを目指す。※授業は、前期から後期中頃までの23回で、体育館で実施する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツの知識・技能を身につける。 ・各種スポーツのルール等を理解し、実践することができる。 ・体力を保持増進する方法について理解できる。 				
授 業 の 内 容 方 進 め	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、ドッジボール 2. アルティメット①：基礎的技術の練習 3. アルティメット②：応用的技術の練習 4. アルティメット③：ゲームとスキルテスト 5. フットサル①：基礎的技術の練習 6. フットサル②：応用的技術の練習 7. フットサル③：ゲームとスキルテスト 8. 卓球（ダブルス）①：基礎的技術の練習 9. 卓球（ダブルス）②：応用的技術の練習 10. 卓球（ダブルス）③：ゲーム 11. 卓球（ダブルス）④：ゲームとスキルテスト 12. ソフトバレーボール①：基礎的技術の練習 13. ソフトバレーボール②：応用的技術の練習 14. ソフトバレーボール③：ゲーム 15. ソフトバレーボール④：ゲームとスキルテスト 16. バドミントン（ダブルス）①：基礎的技術の練習 17. バドミントン（ダブルス）②：応用的技術の練習 18. バドミントン（ダブルス）③：ゲーム 19. バドミントン（ダブルス）④：ゲームとスキルテスト 20. バスケットボール①：基礎的技術の練習 21. バスケットボール②：応用的技術の練習 22. バスケットボール③：ゲーム 23. バスケットボール④：ゲームとスキルテスト 				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『大学生のスポーツと健康生活』（福岡大学スポーツ科学部） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針解説』（フレーベル館） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館）				
事 前 学 習 の 内 容	普段から軽い運動（体操やストレッチ、ウォーキング等）を行い、体力や体調の維持に努めること。 各種目の基本的なルールについて予習しておくこと。				
事 後 学 習 の 内 容	テキストや配布資料を見直すとともに、授業で扱った内容を復習すること。				
評 価 の 方 法 基 準	ワークシート (20%) スキルテスト (80%)				
履 修 上 の 注 意	寒暖差の大きい体育館で身体的負荷の大きい運動を行うため、教員の指示に従い、意欲的に取り組むこと。運動ができる服装、体育館用シューズ、タオル、水分補給用の飲み物を準備して臨むこと。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	湯浅 理枝		
授 業 科 目	スポーツ		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	実技	開 講 時 期	1 年次・通年 (3/4)
授 業 の 主 題 標 目	<p>【授業の主題】 様々なスポーツの実践を通じて、運動・スポーツに親しむ姿勢を育むとともに、必要な技能を身につけ、体力の保持増進を図ることを目指す。※授業は、前期から後期中頃までの23回で、体育館で実施する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツの知識・技能を身につける。 ・各種スポーツのルール等を理解し、実践することができる。 ・体力を保持増進する方法について理解できる。 				
授 業 の 内 容 方 進 め	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス、ドッジボール 2. アルティメット①：基礎的技術の練習 3. アルティメット②：応用的技術の練習 4. アルティメット③：ゲームとスキルテスト 5. フットサル①：基礎的技術の練習 6. フットサル②：応用的技術の練習 7. フットサル③：ゲームとスキルテスト 8. 卓球（ダブルス）①：基礎的技術の練習 9. 卓球（ダブルス）②：応用的技術の練習 10. 卓球（ダブルス）③：ゲーム 11. 卓球（ダブルス）④：ゲームとスキルテスト 12. ソフトバレーボール①：基礎的技術の練習 13. ソフトバレーボール②：応用的技術の練習 14. ソフトバレーボール③：ゲーム 15. ソフトバレーボール④：ゲームとスキルテスト 16. バドミントン（ダブルス）①：基礎的技術の練習 17. バドミントン（ダブルス）②：応用的技術の練習 18. バドミントン（ダブルス）③：ゲーム 19. バドミントン（ダブルス）④：ゲームとスキルテスト 20. バスケットボール①：基礎的技術の練習 21. バスケットボール②：応用的技術の練習 22. バスケットボール③：ゲーム 23. バスケットボール④：ゲームとスキルテスト 				
実務経験を活かす内容					
テキスト教材	『大学生のスポーツと健康生活』（福岡大学スポーツ科学部）				
事前学習の内容	普段から軽い運動（体操やストレッチ、ウォーキング等）を行い、体力や体調の維持に努めること。各種目の基本的なルールについて予習しておくこと。				
事後学習の内容	テキストや配布資料を見直すとともに、授業で扱った内容を復習すること。				
評価の方法基準	ワークシート（20%） スキルテスト（80%）				
履修上の注意	寒暖差の大きい体育館で身体的負荷の大きい運動を行うため、教員の指示に従い、意欲的に取り組むこと。運動ができる服装、体育館用シューズ、タオル、水分補給用の飲み物を準備して臨むこと。				